

バス交通運行効率化関係経費（交通企画課）

1. まちなかループバスの運行終了について

■ ループバスの概要

「熊本駅」「桜町バスターミナル」「下通筋」「通町筋」の4つのバス停をノンストップで「早く」「安く」「分かりやすく」結ぶ新しいバスとして、令和3年（2021年）4月より社会実験方式で運行開始。



▲運行ルートとループバスの車両

■ 利用者数

	2021年度	2022年度	2023年度
延べ運行日数	119日	99日	100日
延べ利用者数	38,635人	41,522人	52,922人
便平均利用者数	8.7人	10.2人	12.4人

※2023年度は1/28までの利用者数

■ 運行終了について

運転士不足が深刻化している中、令和6年度以降のループバスの運行に対応することができない見込みである旨、バス事業者から申し出があり、事業継続が困難となった。

社会実験で得られた効果※を路線バスに継承する取組を行うことで、引き続き、中心市街地の回遊性を向上させ、公共交通の利用促進や更なる賑わいの創出につなげる。

※ループバス利用者の6割超が「満足」と回答。その要因として、安さや分かりやすさが評価されていた。

2. 令和6年度取組（案）

■ まちなかフリーパスの導入

実証実験方式

中心市街地の回遊性向上を図り、公共交通利用者の増加等を目的とした、まちなかフリーパスの実証実験を実施する。

<実施イメージ>

対象エリア：180円均一エリア（右図参照）

対象日：土日祝日のみ

対象交通機関：路線バス

券種：デジタルチケット

販売金額：300円（小学生以下2名まで無料）



▲路線バス180円均一エリア

■ 令和6年度予算：33,000千円

まちなかフリーパス等実証実験経費 24,000千円

共同経営事業推進費 9,000千円

■ 今後の展開（案）

【令和6年度】

路線バスを対象に、まちなかフリーパスの実証実験を実施

【令和7年度以降】

令和6年度の成果を踏まえ、市電やシェアサイクル、商業施設などと連携した取組を展開